



# 忍城

あき ぶゆ ごう  
秋・冬号

# ミュージアム通信 No.23

開館25周年記念 第26回企画展

## 城絵図と忍城

10月6日(土)~11月25日(日)



「忍城鳥瞰図」

（「鳥瞰図」は鳥が眺めるように斜め上から眺めた様子を描いた地図のこと）

城絵図とは、お城の様子をわかりやすく描いた絵地図のことです。忍城が作られてから現代まで、たくさんの忍城の城絵図が描かれてきました。これらの城絵図から、変わっていく忍城の姿をみてみましょう。

みてみよう! この資料!

### 「天正年間成田氏忍城之図」

忍城の城絵図に、「水攻め」の時の武将の名前が書き込まれています。明治時代、行田の歴史を研究していた清水雪翁という人物が描き写した絵図に書き込みました。「水攻め」の様子をわかりやすくするために城絵図が使われています。



## 火縄銃演武

よろい姿の武者たちが、号令に合わせて火縄銃をいっせいに撃ちはなちます。お堀に響く銃声や立ちのぼる煙、まるで戦国時代の合戦のような迫力です。

【日にち】11/11(日)  
【時間】午前11:30~  
午後1:30~  
【場所】忍城址東門



## 「よろいをきよう」

戦国武将になったつもりでよろいを着てみよう! ボランティアさんが着付けてくれます。大人用・子ども用(小学生くらい用)を用意しているので、刀をさして親子で記念撮影もできますよ!

【日にち】10/7・8・14・21・28、11/3・4・11・18・23・25  
【時間】午後1:00~4:00  
【場所】行田市郷土博物館



開館時間 午前9時~午後4時30分(入館は午後4時まで)

休館日 毎週月曜日 ほか10/9、12/25、27~1/4  
11/11(日)、14(埼玉県民の日)は無料入館

お問い合わせ TEL. 048-554-5911

●次号は1月はじめに発行予定です●

<http://www.city.gyoda.lg.jp/kyoiku/iinkai/sisetu/hakubutukan.html>

平成24年10月3日発行  
編集・発行 行田市郷土博物館  
〒361-0052 行田市本丸17-23

無料券

(小・中学生のみ)

有効期限

平成25年1月11日まで

# 体験学習のおしらせ



**10/20(土)** 体験学習講座  
「甲冑をかこう」

「甲冑(よろい)」をモデルに絵をかきましよう。できあがった作品は博物館の通路で展示します!

**12/8(土)** 体験学習講座  
「ワラのリースをつくろう」

ワラをなつて、リースをつくりましよう。上手につくれたら、飾りをつけましよう!



- ・時間 午後1:30~3:30
- ・定員 30名(先着順)
- ・予約 可能(受付カウンター/電話 048-554-5911)
- ※予約いっぱいになることが多いのでご注意ください。
- ・場所 郷土博物館2階会議室
- ・費用 無料
- ・持ち物 「甲冑をかこう」は画材・画板など

- [注意]
- ・5分前には必ずお越しください。
  - ・小学生以下のお子様には大人の方が付き添ってご参加ください。(大人も参加できます)
  - ・会議室の開場は午後1:10からの予定です。
  - ・汚れても平気な格好でお越しください。

**11/14(水)** らうんじ・わーくしょっぷ  
「オリジナルカードケースをつくろう」  
〈埼玉県民の日〉

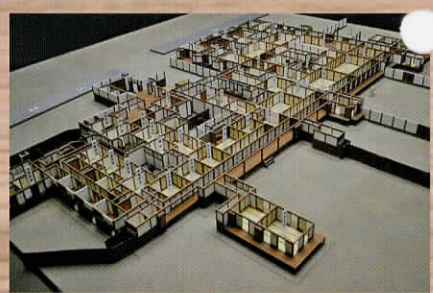
忍城ゆかりの武将の「花押」や「旗印」をつかったカードケースを折りましよう!

- ・時間 午前10:00~12:00 午後1:30~3:30  
(10~30分くらいでつくれます。)
- ・定員 午前50名 午後50名 計100名(先着順)
- ・予約 なし
- ・費用 無料(作成は1人1個まで)
- ・場所 郷土博物館ラウンジ
- ※参加は入館者のみになります。



## 博物館の展示資料No.3 「二の丸御殿の模型」 — 第1展示室 近世の行田

- ・二の丸御殿は、忍城の中心だった建物です。(本丸には建物がありませんでした。)
- ・この模型は、江戸時代の終わり頃に描かれた絵図をもとにつくられました。
- ・二の丸御殿は「表」、「中奥」、「奥」に分かれていました。「表」は政治をする場所、「奥」はお殿さまや家族が生活した場所です。



企画展「城絵図と忍城」にこの模型のもとになった絵図が展示してあるよ!



**Q** 「花押」ってなあに?



「水攻め」のときに忍城のお殿さまだった「成田氏長」の花押

**A** 「花押」は、名前をデザイン化したサインです。文書の最後に書き入れて、確かに自分が書いたことを知らせました。平安時代頃から使われはじめ、鎌倉時代からは武士たちがいろいろな「花押」を使いました。名前以外では、織田信長の「鱗」の字や伊達政宗の「セキレイ(鳥の仲間)」をデザインした「花押」が有名です。現在でも、総理大臣などが「花押」を使うことがあります。